



川崎 ひさのり



かわさきひさのり プロフィール

昭和46年2月生まれ 54歳 青柳在住

草加市立両新田小学校→両新田中学校→越谷北高校→獨協大学法学部卒業

【資格】・国家資格キャリアコンサルタント・AFP・防災士・介護福祉士 初任者/実務者研修修了

【趣味】・ブラジリアン柔術(野武士所属)・ギター・ドローン(二等無人航空機操縦士資格保有)

「保身」から「挑戦」へ

「ごまかし」から「誠実」へ

■持続可能性が問われる草加市財政■第58議案への反対理由

第58号議案「令和6年度一般会計決算」には反対。討論にて、財政の持続可能性について問題提起。

反対の理由

- ・実質単年度収支の赤字
コロナ禍を除き、令和元年度から恒常的に赤字。令和6年度も赤字となり、財政基盤の弱体化が鮮明。
- ・経常収支比率100%超
義務的経費が膨張し、政策的投資や市民ニーズに応える余力を失いつつある。
- ・基金依存の運営
直近の実質単年度収支と財政調整基金の残高推移だけ*を、数字だけで追いかけた際、10億円以上の資金不足構造。現状が続けば4年後に財政調整基金が枯渇する危険性。

注 *あくまで限定的な試算

課題と懸念

決算では個別事業の工夫や成果は見えるが、財政全体の持続性が危うい。
また「厳しい財政」という言葉ばかりで、将来像や具体策が示されず、不透明感が強まっている。

求める対応について

新たな帳票は不要。既存の財政白書や実施計画を活用し、数字に基づく将来見通しや目標値を明示すべき。



討論（議会中継）
49:50～



決算審査は既に執行された昨年の予算について、その使い道がどうだったかを確認します。よって、仮に反対多数でも、現在の運営には直接の影響はないのですが、この決算を認定することは、将来世代に過度な負担を残す危険を伴うため、反対の意思を示しました。

来年4月より埼玉県は県水を値上げ、草加市はどうなる？

今定例会では、上下水道事業について大きく3点を質問しました。①県水料金の値上げへの対応、②八潮市の道路陥没事故を踏まえたインフラの安全確保、③決算を踏まえた中長期的な経営課題についてです。

①県水料金の値上げへの対応

草加市の水道は約85%を県水に依存しており、埼玉県が2026年4月から1㎡あたり約2割の値上げを予定しています。本市の水道料金は県内でも極めて低水準で、近隣市と比べても安価です。一方で、給水原価は供給単価を上回る「原価割れ」が続き、料金改定は避けられないとの認識が示されました。すでに審議会で課題共有が始まっており、今後は改定検討が本格化する見通しです。

②八潮市の道路陥没事故を踏まえたインフラの安全確保

八潮市の道路陥没事故を受け、本市の耐震化や更新計画の優先順位を確認しました。防災拠点や避難所に繋がる管路を優先的に耐震化し、老朽箇所はストックマネジメント計画に基づき点検・更新を進めているとの答弁でした。

また、マンホールポンプは委託点検や遠隔監視システムで常時管理し、災害時には汚水・雨水部門が連携して対応できる体制を整えている。

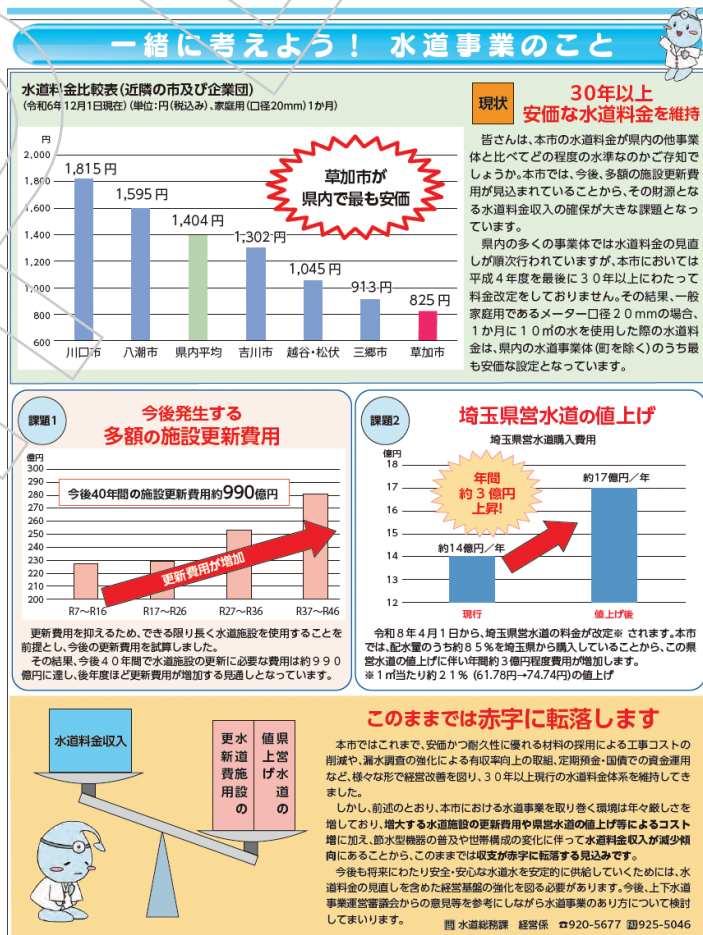
③決算を踏まえた中長期的な経営課題

令和6年度決算では、水道・下水道ともに収支が悪化し、補填財源残高も前年度比で約10.8億円減少しました。今後も更新費用の増加が見込まれ、収支改善が大きな課題です。

水道事業ビジョンでは2032年度に赤字転落、補填財源も2058年度には1.4億円にまで減少すると見込まれており、現状は当初想定以上に厳しい環境です。施設の規模縮小(ダウンサイジング)の検討も進めるとの答弁でした。

まとめ

草加市の水道料金は県内でも低水準を維持し、市民にとって大きなメリットとなっています。しかし、県水値上げや施設更新の財源確保など、経営環境は厳しさを増しています。市民負担の増加を抑えつつ、安全・安定した水道事業を持続するために、料金改定の検討と同時に、徹底したコスト削減と将来を見据えた経営改善が不可欠です。



引用【草加市下水道だより100号より】

私達の暮らしに直結する、水道事業。これからの自治体のあり方を鑑みて、将来の運営をどう考えていくかが問われています。

市民の皆様のご意見・ご要望をお寄せください

草加市議会議員  日本維新の会
川崎ひさのり事務所

お問い合わせ
フォーム



各種SNS・運営サイト

〒340-0002 埼玉県草加市青柳 2-21-6

電話：090-4967-0460 Email：ishin.soka@gmail.com

【発行元】川崎ひさのり事務所 【発行日】2025年10月 討議資料

